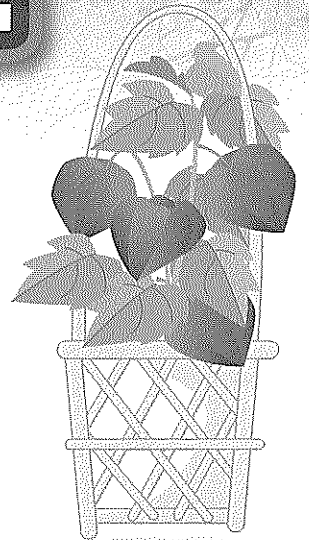


2012

サマーオーナー セミナー



開催日時

平成24年8月21日(火) 13:15~17:00

会場

ホテルメトロポリタン盛岡
ニューウィング4F
メトロポリタンホール

〒020-0033 盛岡市盛岡駅前北通2番27号
TEL (019)625-1211
FAX (019)654-1191



参加料

1社1名様 **10,000**円(税込)
2名様より1人5,000円(税込)

プログラム

12:30 受付開始

13:15 第1部講演会

大友 啓史 (おおとも けいし)
演出家、映画監督

「感動を生み出す現場マネジメント」
-映画産業の成否に学ぶ(経営者)
トップマネジメントの在り方!-

15:00 休憩

15:20 第2部講演会

山口 義行 (やまぐち よしゆき)
立教大学経済学部教授

「どうなる経済と景気のゆくえ」
-今、中小企業経営者がなすべきこと!-

17:00 閉会

主催：株式会社マナ

共催：税理士法人秋山会計事務所

共催：(株)大沢会計&人事コンサルタンツ

TEL(019)622-5500 FAX(019)654-6669

TEL(019)624-4721 FAX(019)654-6669

TEL(019)643-3838 FAX(019)643-3837

第1部講演会

「感動を生み出す現場マネジメント」

— 映画産業の成否に学ぶ (経営者) トップマネジメントの在り方! —

映画監督は芸術家であり事業家である。

映画産業は1本20億円以上の興業収入を求める産業といわれている。

低迷する国内映画界、もはやコンテンツの端的な力だけでは光は見えない。

企画立案から時に興行宣伝まで見渡せるマネジメント力、"一筋縄ではいかない"

現場を束ねる強力なリーダーシップが映画の勝敗を決める時代が来た。

ここに重要な経営のヒントが隠されている。

近代日本勃興の時代に先人は何を考え行動しこの日本を築きたかったのか？

私たちは未来へ何を受け継ぐのか？

龍馬伝・白洲次郎・ハゲタカと幕末から現代まで時代の節目を映像にした

地元出身の大友監督が、この夏の話題作「るろうに剣心」の全国公開を直前に控え、混沌とした時代を切り拓くヒントを大いに語る。

講師 大友 啓史 氏 (おおとも けいし) 演出家・映画監督

1966年盛岡市生まれ。岩手県立盛岡第一高等学校卒。慶應義塾大学法学部法律学科卒。90年NHK入局後、ハリウッドにて脚本や映像演出に関わることを学ぶ。帰国後、連続テレビ小説「ちゅらさん」シリーズ、ドラマ「ハゲタカ」「白洲次郎」「龍馬伝」等の演出、映画「ハゲタカ」(09年東宝)監督を務める。イタリア賞をはじめ国内外で多くの賞を獲得。2011年4月NHK退局、株式会社大友啓史事務所設立。独立第一作目の映画「るろうに剣心」(ワーナー・ブラザース映画/佐藤健 主演)が8/25全国公開予定。13年春公開待機作として「プラチナデータ」(東宝/二宮和也、豊川悦司)がある。



■主な作品： 大河ドラマ「秀吉」(1996年)
連続テレビ小説「ちゅらさん」シリーズ(2001年～)
土曜ドラマ「ハゲタカ」(2007年)
ドラマスペシャル「白洲次郎」(2009年)※近衛はなと脚本も担当。
大河ドラマ「龍馬伝」(2010年) 他多数

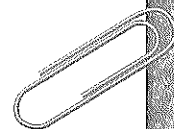
■映 画： 「ハゲタカ」(2009年、東宝)
「るろうに剣心」(2012年、ワーナー・ブラザース映画)
「プラチナデータ」(2013年、東宝)

■受賞歴(作品)

- ・土曜ドラマ「ハゲタカ」(2007年) - 第59回イタリア賞シリーズドラマ部門、第33回放送文化基金賞本賞(番組部門テレビドラマ番組) 他
- ・ドラマスペシャル「白洲次郎」(2009年) - 第64回文化庁芸術祭優秀賞 他
- ・大河ドラマ「龍馬伝」(2010年) - 東京ドラマアワード2010優秀賞 他

■受賞歴(個人)

- ・ヒットメーカー・オブ・ザ・イヤー(「日経エンタテインメント!」)選出
- ・第37回放送文化基金賞個人賞(演出)



第2部講演会

「どうなる経済と景気のゆくえ」

— 今、中小企業経営者がなすべきこと! —

日本の会社の99.7%は中小企業である。

中小企業は社会の主力、地域産業と地域経済の担い手であり、

中小企業の動向は日本経済を左右する屋台骨である。

この屋台骨が今大きく揺れ軋み深刻な事態に陥っている。

その揺れ軋んだ暗闇の中にも必ず光がある。

悩みの中にも必ず答えがある。

常に悩み会社経営に携わる者が的確な情報収集ネットワークを持つことの重要性を示す。

あわせて、企業や行政が今こそ取り組むべき諸課題と実践的事例を中小企業に特化し、多彩な角度から「わかりやすく、明るく」、そして何よりも生活者、中小企業者の目線と現場感覚で秘訣をひも解く。

講師 **山口 義行** 氏 (やまぐち よしゆき) 立教大学経済学部教授
中小企業サポートネットワーク(スモールサン)主宰・エグゼクティブプロデューサー

1951年愛知県生まれ。

立教大学大学院修了。

東邦学園短期大学専任講師、名城大学商学部専任講師を経て、

1993年より立教大学経済学部助教授、95-6年経済学科長。

2001年4月より現職。

《政府行政関係委員》

経済産業省中小企業庁 中小企業政策審議会企業力強化部会委員 (2011年)

経済産業省中小企業庁 中小企業憲章に関する研究会委員 (2010年)

関東経済産業局 新連携支援政策事業評価委員長 (現在)

法務省 法曹養成フォーラム委員 (現在)

外務省 参与 (現在)



■主な著書：「山口義行の“ホント”の経済」(スモールサン出版)

「バブル・リレー」(岩波書店、共編著)

「聞かせる技術」(河出書房新社)

「現場に「解」あり!」(中央公論新社)

「経済再生は「現場」から始まる」(中央公論新社 中公新書)

「誰のための金融再生か」(筑摩書房 ちくま新書)

「金融ビッグバンの幻想と現実」(時事通信社)

「ポスト不況の日本経済」(講談社現代新書、共著)

「現代経済と金融の空洞化」(有斐閣選書、共編著)

